

収穫最盛期 ～金ヶ瀬で旬の枝豆～



雨天が続く中で晴れ間が出た7月下旬、大河原町金ヶ瀬地区の農事組合法人かながせでは枝豆の収穫が始まった。

大河原町は約20年前に枝豆を水田農業振興作物に指定しており、同法人では大豆の栽培ノウハウを応用して栽培に取り組んでいる。栽培品種は粒が大きく甘

みとコクがある「酒の友」で年代を問わず人気が高い。

同法人では枝豆の鮮度にこだわる。収穫は早朝に行い、収穫した枝豆は傷まないうちに作業員が慣れた手つきで選別と包装を行う。

販売は作業場前での対面販売で行われ固定客も多い。毎年枝豆を楽しみにしている女性は「待ちに待ったかながせの枝豆。粒がぷりぷりして大きく香りもいい。今夜のビールが楽しみ」と話す。

同法人では8月上旬に枝豆まつりを開催しており、毎年多くの人で賑



わっている。今年も開催を予定しており、同法人代表理事の角田真由美さんは「枝豆まつりもコロナ禍だからこそ続けていきたい。」と話す。

角田さんは今年4月に町の農業法人初の女性代表に就任。周囲からは「今後の町の農業を担う」と期待が大きい。